

1 入社・入学に向けての準備期間

就職試験も終盤戦。進学試験も専門学校の試験がほぼ終わり、大学・短大の入試が始まっています。11月5日現在で一般就職試験内定率が97.5%、進学希望者の49.5%が合格をしている状況です。一方で最後まで自分の進路決定に向けて日々励んでいる人がいます。進路決定はチーム戦です。チーム鹿工としてみんなで応援していきましょう。

さて、進路が内定又は合格している皆さんは、いよいよ、これからが「**本番**」です。入社・入学するまでに少しでも「自身の能力を高め」、社会人になるため、又は更に学びを深めるために、今からその「**準備**」を始めましょう。

今年の鹿工は、「**挨拶**」「**清掃**」「**時間**」をキーワードに、質実で誠実な学校を目指しています。鹿工生として、その方針の中で、しっかりと学び、意識を持って行動していると思います。

教育哲学者の森信三氏の提唱した「時を守り 場を清め 礼を正す」は職場再建の3原則と呼ばれています。社会人になるにあたって、常に心に銘じて行動できることを期待します。

時を守り： 時間や期限を守ること、相手を尊重し自分の信用を積み重ねる。

場を清め： 掃除や整理整頓をすることで、心を磨き、気づきや謙虚さ、感動や感謝の心を育む。

礼を正す： 挨拶や返事をする事で、相手と心を開き人間関係を構築する。

(1) 就職予定の皆さん、新卒社員に求めるものを調べてみると以下の8項目ができます。自分には能力が備わっているか、身につけるために何をすればよいかを考えてみましょう。

- ① 積極性・意欲（前向きで自発的な態度・目標達成に強い意欲と情熱を持って積極的に努力する態度）
- ② コミュニケーション能力（相手とスムーズに意思疎通を図る力）
- ③ 素直さ
- ④ 誠実さ、責任感
- ⑤ 主体性
- ⑥ ビジネスマナー（社会人が働く上で必要とされるマナー）

（5原則：笑顔・挨拶・身だしなみ・言葉遣い・態度）

- ⑦ ロジカルシンキング（物事を筋道を立てて論理的に考え、結論を出す思考法）
- ⑧ スケジュール・タスク管理（計画から実行までの流れを管理し予定通り進める能力）

(2) 進学予定の皆さん、上級学校に進学する目的を再度確認しましょう。

- ① 何を学ぶのか。
- ② どのようなスキルを身につけるのか。
- ③ 将来にどう生かすか。

2 社会人としてこれから身につけたい能力

(1) コミュニケーション能力

コミュニケーションはビジネスや日常生活において非常に重要です。他人と効果的にコミュニケーションをとり、アイデアや情報を明確に伝える能力が求められます。

(2) 問題解決能力

問題が発生した際に、論理的思考や創造的思考を継続して解決策を見つける能力が必要です。この能力は職場や日常生活で常に求められます。

(3) デジタルリテラシー

デジタル技術がますます重要になっており、コンピューターやインターネットを使用する能力が求められています。これには基本的なコンピュータスキル、デジタルツールの使用、情報セキュリティの意識などが含まれます。

(4) 自己管理能力

目標の設定、時間管理、ストレス管理など、自己管理能力は個人として成功するために重要です。また、仕事やプロジェクトを効果的に管理するためにも役立ちます。

(5) チームワーク力

チームでの仕事が一般的であり、他の人と協力して目標を達成できる能力が求められます。

協力、コラボレーション、対人関係のスキルは重要です。

(6) 経済的リテラシー

お金に関する基本的な知識や資金管理スキルは、個人の健全性を維持するために必要です。

(7) ライフロングラーニング

変化の激しい社会では、新しいスキルを学び続けること(生涯学習)が必要です。また、自己学習能力や適応力を高めることが重要です。

これらの能力は、今後の生活や社会で成功するために役立つと思います。また、具体的な職業やキャリアの選択に応じて、更に専門的なスキルや資格が必要とされることもあって、自分の目標に合わせてスキルを磨いていくことが重要となりますので、これらのことを踏まえて実践していただきたいと思います。

3 上級学校に入学した後に必要とされる力

(1) さまざまな文献を読んでまとめる力

大学では英語の文献を読むこともあります。

(2) レポートを書くための文章力

提出したレポートで評価される科目もあります。

(3) 講義に対応できる基礎学力

工業高校は、普通高校より普通教科の授業時数が少ないので、入試にない科目も、入学後も困らないように学んでおく必要があります。また、高校生よりも大人として扱われるので、より自主的に勉強する姿勢が必要になります。

4 実社会での現実とは・・・

皆さんはテストでオール満点を取ったら、努力して素晴らしい結果を残すことができたと思うことでしょう。では、実社会ではどうでしょう？購入した商品の完成度が100点満点であれば、素晴らしいと感じますか。購入した商品の完成度が100%であることは当たり前であるし、商品としての付加価値をどのようにつけて、商品価値を上げるかが重要となります。

例えば、資格試験で正答率70%以上が合格の場合、7割の知識で資格を手に入れることができますが、残りの3割は知識不足であるということになります。その不足分をしっかりと補うことで仕事として100%の成果を上げることができます。社会人として仕事に責任を持つということは、この不足する知識・技能を常に補い100%以上の成果を出すことにあります。この不足を補うことこそが、知識や経験を積み自身のスキルを向上させることにつながります。これから社会に飛び出す皆さんは、少しでも自身の知識を増やし、社会人としてのマナーや生活習慣を身につけるように努力を続け、入社や入学に向けて準備を始めてください。